



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会 Vol.18

あなたと一緒に聴きたいラジオ

ギャラクシー賞ラジオ選奨委員会では、聴く機会の少ないギャラクシー賞の入賞作品を聴いて、その制作者にお話を伺い、ともに語り合う会を毎年開いています。今回は、第51回ギャラクシー賞ラジオ部門優秀賞受賞作品の試聴とその制作者をお招きして番組や制作に関して自由に意見を交換し、語り合いたいと考えています。参加をご希望の方はこの用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてご返送ください。ラジオ関係者に限らず、多方面からのご参加をお待ちしております。

試聴番組とゲスト

◆「赤江珠緒 たまむすび」TBSラジオ&コミュニケーションズ（優秀賞）

ゲスト：市川莉紗さん（TBSラジオ&コミュニケーションズ ディレクター）

月曜日から金曜日まで平日のお昼に放送されている生ワイド番組「たまむすび」。受賞作は、赤江珠緒とピエール瀧のコンビで送った2013年4月8日の放送です。この日はリスナー参加型企画「部活掛け声テレフォン」で大いに盛り上がりました。赤江珠緒のとぼけた面白さとピエール瀧の絶妙なツッコミに加え、電話越しのリスナーを番組の主役にした巧みな演出が高く評価されました。聴く人を笑顔にしてくれるラジオ番組です。

◆「途切れた119番～祐映さんと救急の6分20秒～」山形放送（優秀賞）

ゲスト：新野陽祐さん（山形放送 報道制作局 報道部 ディレクター）

2011年、体調不良を訴えた大学生からの119番通報に対し、山形市消防本部は救急車出動をせず、のちに大学生は遺体で発見されました。消防署員との6分20秒の衝撃的な音声記録で聴く者を引き込みます。全国消防署から山形市消防本部OBを多面的に取材、不要不急の救急要請が増える現状と、同署独自の慣習とを突き止め、現代の救急医療に横たわる問題を冷静なデータと生々しい証言とで明らかにしたノンフィクションの秀作です。

◇日時 11月8日（土）午後1時～午後5時 開場：午後0時30分

◇会場 赤坂 TBSセミナー室（TBS放送センター11階）

◇参加費 お一人1,500円（学生1,000円）

*TBS放送センター入口の受付にて、当日精算となります。

終了後、各自負担で懇親会を予定しております。

詳細は当日お知らせいたします。

◇協力 TBSラジオ&コミュニケーションズ

◇主催・問い合わせ（TEL.03-5379-5521）

NPO法人 放送批評懇談会ラジオ選奨委員会

▼申込記入欄（懇親会はどちらかに○をお願いします）

お名前	
所属	
連絡先	
懇親会	出席 ・ 欠席



このままFAXしてください！

FAX 03-5379-5510（放送批評懇談会事務局）

申込はメールでも受け付けております。タイトルに「聴く会参加希望」とお書きの上、上記の項目を次のアドレスへお送りください。info@houkon.jp（※切：10月31日（金）但し、定員になり次第締め切らせていただきます。）

*複数名ご参加の方は、お手数ですが、この用紙をコピーの上、お申し込みください。